



株式会社シャルレ
<https://www.charle.co.jp/>



株主のみなさまへ
第49期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

株式会社シャルレ 証券コード 9885



株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第49期連結会計年度における報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行による経済活動の正常化が加速し、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の増加等を背景に景気は緩やかに持ち直してまいりましたが、一方で不安定な為替相場やエネルギー価格の高騰による世界的な物価高など景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような中、レディースインナー等販売事業においては、価格改定による駆け込み需要の影響や新定番商品の発売、ビジネスメンバーの新規育成人数の増加により増収増益となりました。しかし、ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業においては、ホテルや美容室などの事業者向け販路拡大に一定の成果は上げられたものの、シャワーヘッド市場における競争激化の影響を受けて減収増益となりました。結果として、当連結会計年度における当社グループは減収増益となりました。

一方、当社グループの足元の状況として、「シャルレビジネス事業の再生」及び「新規事業開発による新たな柱の創造」の2つの基本方針に基づいて中期経営計画を推進してまいりました。様々な経営課題と向き合いながら、より発展的に当社グループの成長を目指すうえで、抜本的な経営改革を可能とし、グループビジョンを具現化するためには2つの基本方針により磨きをかけた中期経営計画の推進が不可欠であります。そのため、新たなグループビジョン及び中期経営計画につきましては、詳細や中期経営指標は決まり次第速やかに改めて公表いたします。

また、当社は従業員の働き方改革推進強化の一環として、神戸市須磨区から神戸市中央区のシャルレポートアイランドビルに本社機能を移転いたしました。施設維持管理コストの効率化だけではなく、新たなグループビジョンや中期経営計画を実現できるよう、従業員のアイデア創出やイノベーション意識の醸成など、組織の垣根を取り払ったことでコミュニケーションを高め合えることができるような環境を整え、従業員一人一人の業務効率や生産性向上の実現を目指していきます。

今後も、株主のみなさまには、さらなるご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

基本理念

人はみな豊かでなければならない
我々に関係ある人はみな
どうしても豊かでなければならない

2024年6月
株式会社シャルレ
代表取締役社長
林 勝哉



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	当連結会計年度 2024年3月31日	前連結会計年度 2023年3月31日
(資産の部)		
流動資産	15,767	15,025
固定資産	5,626	5,459
有形固定資産	1,481	2,262
無形固定資産	1,051	1,199
投資その他の資産	3,093	1,997
資産合計	21,394	20,485
(負債の部)		
流動負債	2,316	1,896
固定負債	758	782
負債合計	3,075	2,679
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	100	3,600
資本剰余金	8,398	4,897
利益剰余金	10,008	9,549
自己株式	△ 131	△ 131
その他の包括利益累計額	△ 55	△ 109
純資産合計	18,319	17,806
負債純資産合計	21,394	20,485

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

単位:百万円

科 目	当連結会計年度 2023年4月1日 ～2024年3月31日	前連結会計年度 2022年4月1日 ～2023年3月31日
売上高	13,168	13,255
売上原価	6,608	6,498
売上総利益	6,560	6,756
販売費及び一般管理費	6,002	6,505
営業利益	557	251
営業外収益	61	52
営業外費用	3	2
経常利益	615	301
特別利益	462	—
特別損失	394	982
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	683	△ 681
法人税、住民税及び事業税	53	34
法人税等調整額	43	24
当期純利益又は当期純損失(△)	585	△ 740
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	585	△ 740

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	当連結会計年度 2023年4月1日 ～2024年3月31日	前連結会計年度 2022年4月1日 ～2023年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,507	△ 733
投資活動によるキャッシュ・フロー	117	△ 1,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 160	△ 193
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,463	△ 2,012
現金及び現金同等物の期首残高	11,223	13,235
現金及び現金同等物の期末残高	12,687	11,223

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ14億63百万円増加し、126億87百万円となりました。

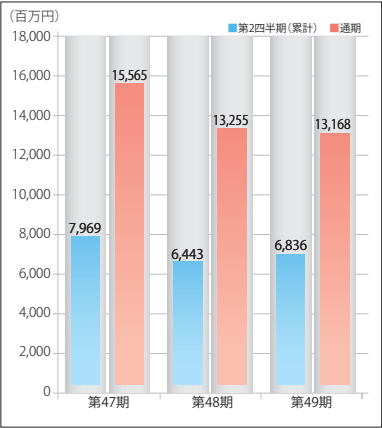
営業活動によるキャッシュ・フローは、15億7百万円の収入となりました(前連結会計年度は7億33百万円の支出)。主な要因は、税金等調整前当期純利益6億83百万円、減価償却費及びその他の償却費4億77百万円、固定資産売却益4億43百万円、棚卸資産の減少3億14百万円、未払金の増加2億52百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億17百万円の収入となりました(同10億85百万円の支出)。主な要因は、有形固定資産の売却による収入16億9百万円、投資有価証券の取得による支出9億99百万円、有形固定資産の取得による支出2億72百万円、無形固定資産の取得による支出1億31百万円であります。

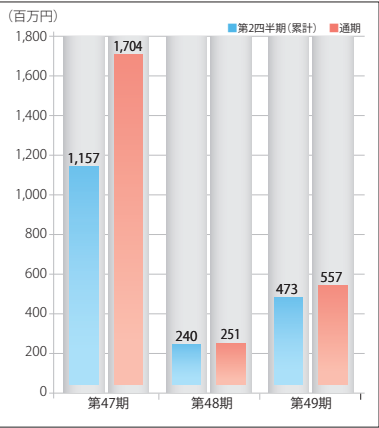
財務活動によるキャッシュ・フローは、1億60百万円の支出となりました(同1億93百万円の支出)。主な要因は、配当金の支払額1億26百万円であります。

連結財務ハイライト

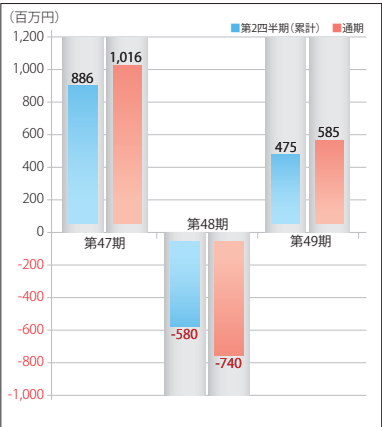
売上高



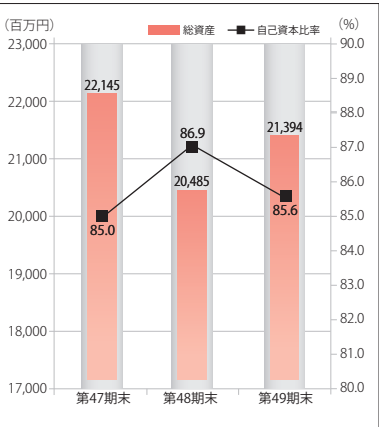
営業利益



親会社株主に帰属する
当期純利益又は
当期純損失



総資産・自己資本比率



決算ポイント

【売上の状況】

第49期の売上高につきましては、レディースインナー等販売事業では、定番商品を強化するため、当社独自の特許技術を用いた「シャルレミライ」シリーズや、簡単に装着でき腰まわりを無理なくサポートする腰ケア商品「ライトなサポーター」を発売し、好調に推移いたしました。

また、原材料の高騰やエネルギー価格の上昇などにより価格改定を6月に実施いたしました。

化粧品類では、化粧品ブランドの「エタリテ」発売20周年を記念した特別限定商品を発売するとともに、販促キャンペーンを実施し、好調に推移いたしました。健康食品類では、数量限定商品の発売が好調に推移いたしました。ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業では、依然として競争の厳しい市場であり、OEM製品の生産やホテルや美容室等の事業者に向けた新たな販路拡大に積極的に取り組みましたが、EC販売における価格競争の激化等により減収となりました。

これらにより、当連結会計年度は131億68百万円(前連結会計年度比0.6%減)の減収となりました。

【営業利益の状況】

第49期の利益面につきましては、レディースインナー等販売事業では、子会社のシャワーヘッドの売上が前年同期より減少したものの、6月に価格改定を実施し、粗利高の維持および固定費削減に努めた結果、増益となりました。

ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業においては、売上の減少額が大きく影響したものの、真鍮部品・金属切削加工事業を新設分割によってグループ外に株式を譲渡したことにより利益率が改善いたしました。

また、グループ全体で人件費や広告宣伝費および販売促進費等による販管費が減少いたしました。これらにより、当連結会計年度の連結営業利益は5億57百万円(前連結会計年度比122.1%増)の増益となりました。

【親会社株主に帰属する当期純利益】

本社移転に伴う費用や固定資産除却損等により特別損失が発生したものの、固定資産の売却益によって親会社株主に帰属する当期純利益は、5億85百万円(前連結会計年度は希望退職の実施や子会社の減損損失や事業整理損もあり7億40百万円の純損失)となりました。

事業報告 (報告セグメント別売上高)

セグメント 売上構成比／売上高		売上高の推移 (単位: 百万円)		49期トピックス									
レディースインナー等販売事業	衣料品類	65.9% 8,683 百万円 <table><tr><td>第49期(2024年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (4,543)</td><td>通期(8,683)</td></tr><tr><td>第48期(2023年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (4,044)</td><td>通期(8,669)</td></tr><tr><td>第47期(2022年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (4,242)</td><td>通期(8,808)</td></tr></table>	第49期(2024年3月期)	第2四半期連結累計期間 (4,543)	通期(8,683)	第48期(2023年3月期)	第2四半期連結累計期間 (4,044)	通期(8,669)	第47期(2022年3月期)	第2四半期連結累計期間 (4,242)	通期(8,808)	4月に当社独自の特許技術を用いた「シャルレミライ」シリーズ(ブラジャー・ガードル・ショーツ)を発売し、9月に簡単に装着でき腰まわりを無理なくサポートする腰ケア商品「ライトなサポーター」を発売しました。また、数量限定商品も売上に貢献したことで、前年並みの推移となりました。	
	第49期(2024年3月期)	第2四半期連結累計期間 (4,543)	通期(8,683)										
	第48期(2023年3月期)	第2四半期連結累計期間 (4,044)	通期(8,669)										
	第47期(2022年3月期)	第2四半期連結累計期間 (4,242)	通期(8,808)										
	化粧品類	16.1% 2,116 百万円 <table><tr><td>第49期(2024年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (1,150)</td><td>通期(2,116)</td></tr><tr><td>第48期(2023年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (1,024)</td><td>通期(1,906)</td></tr><tr><td>第47期(2022年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (1,108)</td><td>通期(2,083)</td></tr></table>	第49期(2024年3月期)	第2四半期連結累計期間 (1,150)	通期(2,116)	第48期(2023年3月期)	第2四半期連結累計期間 (1,024)	通期(1,906)	第47期(2022年3月期)	第2四半期連結累計期間 (1,108)	通期(2,083)	発売20周年を記念した化粧品ブランド「エタリテ」の特別限定商品が好調な推移となりました。また、化粧品の販促キャンペーンも実施したことで既存定番商品の取り扱いも増加し、大幅に前年同期を上回る結果となりました。	
第49期(2024年3月期)	第2四半期連結累計期間 (1,150)	通期(2,116)											
第48期(2023年3月期)	第2四半期連結累計期間 (1,024)	通期(1,906)											
第47期(2022年3月期)	第2四半期連結累計期間 (1,108)	通期(2,083)											
健康食品類	7.1% 929 百万円 <table><tr><td>第49期(2024年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (482)</td><td>通期(929)</td></tr><tr><td>第48期(2023年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (454)</td><td>通期(863)</td></tr><tr><td>第47期(2022年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (475)</td><td>通期(967)</td></tr></table>	第49期(2024年3月期)	第2四半期連結累計期間 (482)	通期(929)	第48期(2023年3月期)	第2四半期連結累計期間 (454)	通期(863)	第47期(2022年3月期)	第2四半期連結累計期間 (475)	通期(967)	既存定番商品が前年同期より下回ったものの、数量限定商品として8月にクエン酸を配合した希釈タイプの清涼飲料水「黒こしょうの恵み」や、12月に黒しょうがと高麗人参などの天然由来の成分を配合したしょうが湯「ほっと黒しょうが」を発売したことで、大幅に前年同期を上回る結果となりました。		
第49期(2024年3月期)	第2四半期連結累計期間 (482)	通期(929)											
第48期(2023年3月期)	第2四半期連結累計期間 (454)	通期(863)											
第47期(2022年3月期)	第2四半期連結累計期間 (475)	通期(967)											
その他	2.7% 355 百万円 <table><tr><td>第49期(2024年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (119)</td><td>通期(355)</td></tr><tr><td>第48期(2023年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (241)</td><td>通期(527)</td></tr><tr><td>第47期(2022年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (849)</td><td>通期(1,301)</td></tr></table>	第49期(2024年3月期)	第2四半期連結累計期間 (119)	通期(355)	第48期(2023年3月期)	第2四半期連結累計期間 (241)	通期(527)	第47期(2022年3月期)	第2四半期連結累計期間 (849)	通期(1,301)	子会社のシャワーヘッドを第47期より継続的に販売しておりますが、当市場内での飽和化などの要因により需要動向は鈍化し、前年同期を大幅に下回る結果となりました。		
第49期(2024年3月期)	第2四半期連結累計期間 (119)	通期(355)											
第48期(2023年3月期)	第2四半期連結累計期間 (241)	通期(527)											
第47期(2022年3月期)	第2四半期連結累計期間 (849)	通期(1,301)											
ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業	8.2% 1,084 百万円 <table><tr><td>第49期(2024年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (540)</td><td>通期(1,084)</td></tr><tr><td>第48期(2023年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (677)</td><td>通期(1,287)</td></tr><tr><td>第47期(2022年3月期)</td><td>第2四半期連結累計期間 (1,292)</td><td>通期(2,404)</td></tr></table>	第49期(2024年3月期)	第2四半期連結累計期間 (540)	通期(1,084)	第48期(2023年3月期)	第2四半期連結累計期間 (677)	通期(1,287)	第47期(2022年3月期)	第2四半期連結累計期間 (1,292)	通期(2,404)	OEM製品の生産やホテル・美容室などの事業者向け販路の拡大に向けて積極的な取り組みを行ってまいりました。市場間では新規参入事業者の増加やEC販売における価格競争の激化により、主力商品であるシャワーヘッドの販売状況が低調な推移となりました。		
第49期(2024年3月期)	第2四半期連結累計期間 (540)	通期(1,084)											
第48期(2023年3月期)	第2四半期連結累計期間 (677)	通期(1,287)											
第47期(2022年3月期)	第2四半期連結累計期間 (1,292)	通期(2,404)											

本社移転

本社移転しました

2024年4月より、当社従業員の働き方改革推進強化の一環として、神戸市須磨区にありました本社ビルから神戸市中央区にあるポートアイランドビルに本社移転をいたしました。「Discover New CHARLE 新たなシャルレの発見」をテーマに、新たな本社では壁を取り払ったオープンなオフィス空間とすることで業務に集中できるスペースや、従業員同士が活発にコミュニケーションを取ることが可能なフロアに設計するなど、働きやすさや働き甲斐のある職場環境を整備するとともに、業務効率や生産性の向上を目指します。

オープンワークスペース

従来の固定席ではなく、業務の特性やその日の内容によって働く場所を選んで利用することで、部署の垣根もなく活発なコミュニケーションを誘発する内装設計とともに、「フリーアドレス」（一部固定席もあり）を取り入れています。



商品トピックス

新ファンデーションシリーズ 「シャルレミライ」を 2023年4月に発売しました

Charle MIRAI
シャルレミライ

定番商品を強化する為に、新しいシリーズとして「シャルレミライ」を発売いたしました。

現在の下着市場において変化している「補整」の在り方に対応し、多くの女性が整えたい部位に着目した、“着けた瞬間”から“外す瞬間”までキレイが続く大人のための新感覚ファンデーションシリーズです。

女性の柔らかい「皮膚の動き」の研究から発想したスキンフィット設計と部分的に圧をかけないように設計したことで、皮膚の伸縮にシンクロし、まるで身体の一部のような一体感を目指しました。新しいシリーズの発売でより多くのシャルレファン獲得を目指します。



商品ラインナップ

■シャルレミライ ブラジャー

身体とシンクロするような着け心地で、はみ肉しらずの美バストへ。
ずれ・はみ肉・圧迫感軽減の新感覚ノンワイヤーブラジャー。

※「スキンフィット設計」で特許取得（特許第6909470号）
皮膚の動きにフィットするスキンフィット設計。心地よいフィット感で、動いてもずれにくく美しいバストに整えます。

■シャルレミライ スラリフト（ガードル・セミハイウエスト・セミロング）

身体にシンクロするような着け心地と、美しいスミージングライン。
「スラリ」と「リフト」アップをかなえる「スラリフト」。

ずれ・はみ肉・圧迫感軽減のセミハイウエスト、セミロング丈のガードル。

※「スキンフィット設計」と「部分的に圧をかけない設計」で特許取得（特許第7204158号）

■シャルレミライ ショーツ

ふんわり包み込み美シルエットに、なめらかラインをかなえる。

やさしくフィットし、安心感のあるはき心地のショーツ。



(05)ブラック

(85)シェルピンク



(05)ブラック

(85)シェルピンク



(05)ブラック

(85)シェルピンク

シャルレ事業における SDGs 取り組み項目の目標・進捗

当社においてはSDGs取り組み項目の目標達成に向け推進策を実施いたしました。また、取り組み内容について見直しを行い、新たな取り組みも社員から募集し、実施いたしました。2024年は新たな中期経営計画を策定し、SDGsと中期経営計画・事業戦略との統合を図り、より一層SDGsを推進していきます。

3 すべての人に健康と福祉を

人生100年時代を見据えて、人々の健康維持に貢献できる商品の提案を目指します。また、シャルレビジネスを通じて人々が社会や人とつながる“場”を提供することで豊かな生活を目指します。

取り組み		目標項目	2023年実績	2029年目標
(1)健康関連商材の提供	健康関連商材(健康食品・シャルレウェルネス商品)の販促、定期便の利用促進	健康食品売上シェア	7.3%	33.6%
		定期便利用者シェア	19.4%	30.0%
(2)多様な働き方の推進 ※目標8(働きがい)の観点も含む	残業時間の削減や有給休暇の取得促進による私生活の充実	残業時間数	月平均3.7時間 (管理職除く)	月平均3時間 (管理職除く)
		有給休暇取得率 (付与日数に対する 取得日数比率)	68.6% (2023年4月～ 2024年3月)	70.0%
	事業場での就労にとらわれない柔軟な就労体制の確立	テレワークの取得率	14.2% (2023年4月～ 2024年3月)	コロナ収束により 目標変更 15%～30%
	自己の健康状況把握及び改善の推進	健康診断 (生活習慣病健診含む) における有所見率	44.5% (2024年3月現在)	20.0%

5 ジェンダー平等を実現しよう

女性を元気にする日本一のグループを目指す企業として、学歴や資格に関係なく誰でも始められるシャルレビジネスを提供し、女性経営者を育成し、女性が活躍する社会を目指します。

取り組み		目標項目	2023年実績	2029年目標
(1)女性の労働環境の提供	魅力あるシャルレビジネスの提供	特約店稼働数(月平均)	3.28万人	5.0万人
(2)女性経営者の育成・教育	代理店の育成・教育	代理店育成数(累計)	4,131店	4,300店
(3)女性従業員の活躍推進	女性従業員の多様なキャリア形成の支援による、長く勤務できる環境の整備	女性管理職比率	23.3% (2024年3月現在)	25.0%
		女性従業員の平均勤続年数	16.6年 (2024年3月現在)	20年
		育児休業取得率	100%	100%

12 つくる責任、つかう責任

品質のよい商品にこだわり、パッケージを簡素化する等、環境負荷が少なく、安心・安全に配慮したもののづくりを目指します。

取り組み		目標項目	2023年実績	2029年目標
(1)環境等に配慮した調達・商品開発	適正なメーカーとの取引強化	新疆綿の利用率低減	非開示	使用率0%
(2)パッケージの簡素化	配送用段ボールの変更	新規段ボール(小サイズ)の導入	非開示	一部導入
(3)ロス資材の有効活用	ロス資材の再利用	自社資材を活用した混抄紙(ASUKAMI)の活用	ASUKAMIを使用した社員名刺の作成	ロス資材の低減
(4)シャルレブランド価値の向上	企業及び商品のリブランディングによる、新たな価値・サービスの提供	ブランド認知・好意・推奨	2024年スタートに向け推進中	認知・好意・推奨

※取り組み内容や目標に関しては事業の方向性や経営計画を鑑み、随時見直し・検討を行ってまいります。

シャルレグループにおける取り組み

シャルレグループは持続可能な社会の実現を目指し、SDGsの取り組みを推進しております。引き続き17の国際目標のうち以下項目について重点的に取り組んでまいります。



人生100年時代を見据えて、人々の健康維持や快適な暮らしに貢献できる商品や製品の提案を目指します。また、人々が社会や人とつながる“場”を提供することで豊かな生活を目指します。



女性が活躍できる社会を目指すとともに、人々が働きがいのある仕事に取り組みめるよう雇用の増加を目指します。



品質のよい商品にこだわり、環境負荷が少なく、安心・安全に配慮したもののづくりを目指します。

会社の概要・株式の状況

会社の概要

概要(2024年3月31日現在)

社 名 株式会社シャルレ
本社所在地 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号
設 立 1975年11月19日
資 本 金 1億円
事 業 内 容 レディースインナーを主体とする
衣料品、化粧品、健康食品等の販売
社 員 数 204名

(注) 当社は2024年4月1日より、本社移転に伴い
本社所在地が下記に変更となっております。
神戸市中央区港島中町七丁目7番1号

取締役(2024年6月18日現在)

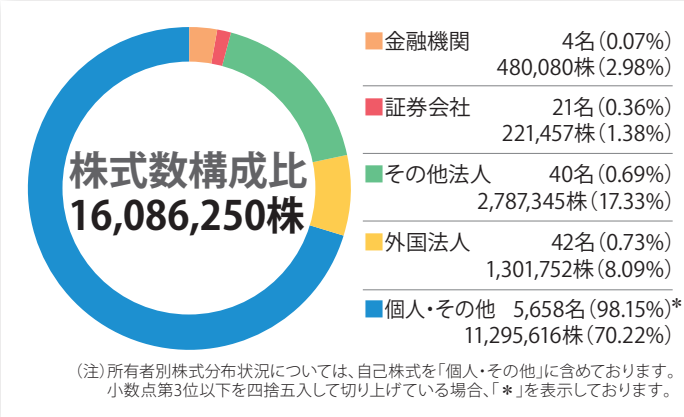
代表取締役社長 林 勝哉
取締役 高畑 則雄
取締役 千本松 重雄
取締役 濱野 正治
取締役 石岡 弘幸
社外取締役(常勤監査等委員) 吉田 金吾
社外取締役(監査等委員) 岸本 達司
社外取締役(監査等委員) 井出 久美
社外取締役(監査等委員) 茂永 崇

株式の状況

株式の状況(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 84,000,000株
発行済株式の総数 16,086,250株
株 主 数 5,765名

所有者別株式分布状況(2024年3月31日現在)



大株主(2024年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
林 雅晴	1,508,925	9.53
(有) G & L	1,272,432	8.04
(有) Lam's	956,150	6.04
INTERACTIVE BROKERS LLC	901,700	5.69
林 勝哉	843,500	5.33
瀬崎五葉	834,700	5.27
林 宏子	737,699	4.66
林 充孝	551,800	3.48
林 直樹	458,305	2.89
林 達哉	291,000	1.84

(注) 出資比率は、自己株式(251,000株)を控除して計算しております。

株主メモ・株式に関する手続きについて

株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
基 準 日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)
同 連 絡 先	電子公告 公告掲載 URL https://www.charle.co.jp/ company/outline/publicnotice.html (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子 公告による公告をすることができない場合は日本経 済新聞に掲載。)
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コ ー ド	9885

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座
を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱
UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行
が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀
行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

『コーポレートガバナンス』の内容に関しましては、
以下よりご覧いただけます。

【URL】
<https://www.charle.co.jp/corporate/governance/>

【シャルレホームページ】
「シャルレホームページ」⇒「企業情報」⇒「コーポレートガバナンス」を選択

株式に関する手続きについて

特別口座に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○特別口座から一般口座への 振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	○郵送物等の発送と返戻に 関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に 関するご照会 ○株式事務に関する一般的な お問合せ
お問合せ先	
特別口座管理機関	株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	
手続き書類のご請求方法	
インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/	

(※) 特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比
例配分方式は、お選びいただけません。

証券会社等に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	○左記以外の お手続き、ご照会等
お問合せ先	
株主名簿管理人	口座を開設されている 証券会社等に お問合せください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	